

～七飯町海外交流研修を終えて～

町民代表 対馬 明子

最初に、このような素晴らしい機会を頂けたことに感謝申し上げます。

2004年からコンコードカーライルハイスクール（CCHS）バンドメンバー2人ずつ3回、SFクラブメンバー1人計7人が我が家にホームステイしました。

今まで受け入れる事だけを考えていたので、まさか自分がコンコードに行く事になるうとは考えてもいませんでした。嬉しくて今までに受け入れたコンコードの子供達にメールすると、2組の御両親から会えるのを楽しみにしていますと返事を頂きました。初めての海外でもあり少し不安でしたが、コンコードの子供達とその家族に会えるのを楽しみに行ってまいりました。

長い長いフライトを経験してはるばるとやって来たという感じでボストン空港に着くと、前任の国際交流員のボビーをはじめコンコードの方々が迎えに来てくださってとても嬉しかったです。遅い時間にもかかわらずCCHSではホストファミリーの方々に温かく迎えられそれぞれのホームステイが始まりました。そこでも去年我が家にステイしたケビンとジェイムスに会えて嬉しく、また、知っている顔が見えてホッとしました。



ホストファミリーと

私はロンとカレン夫妻のお宅にお世話になりました。カレンはソロー小学校の図書司書です。カレンと同じ学校の教員スーザンとCCHSの図書司書ロビンと一緒に3年前七飯町に来ており、今回初めてホームステイを受け入れてくれました。スーザンは同じ町民代表の後藤梨恵さんを、ロビンは七飯高校の桜井先生をそれぞれ受け入れてくださって、次の日みんながそれぞれ料理を持って来てホームパーティーを開いて下さいました。そのパーティーにはバイクで日本一周をしたと言う日本語がとても上手なクリスが両親と共に参加して下さいました。日本の私たちも、日本から持って来た材料で、おにぎりを握ったり皆さんの前で悪戦苦闘して焼いたジャンボお好み焼きをご馳走したり、抹茶を立てて味わっていただきながら、七飯町訪問の写真をを見せていただいたり、色々とお話しができて良かったです。ここで食の文化交流もできました。

広さは七飯町の3分の1、人口は半分くらいというコンコードの町は、大きなビルもほとんどなく緑豊かな素敵なおところでした。家のまわりではチツ



コンコードセンター

プモンクというリスの小さいサイズの可愛い動物と毎日のように会う事が出来ました。また、車の運転のマナーのよさにも驚きました。環境が違うからですが、横断歩道に人が見えると必ず止まり、とにかく歩行者優先でした。この歩行者優先はボストンやニューヨークでは通用しないからと事前研修で、念を押されました。

「若草物語」の作者のルイザ・メイ・オルコットの当時そのまま保存されている家や、独立戦争発端の地であるノースブリッジなど歴史ある場所を見学しました。町の中心街では可愛い看板のある色々なお店でお土産を買いました。

また黄色いスクールバスで行ったボストン美術館ではゴッホやモネの絵画や古代エジプト、ギリシャ美術などたくさんの作品に触れ、ハーバード大学では歴史ある建物など大学生による案内で見学し、帰りには大学生協でお土産を買いました。

今回カレンとスーザンが色々した後藤さんと私のために計画してくださいました。4人一緒にボートでランチしながらの川下りでは、ゆるやかな流れに爽やかな風を受けて素敵な時を過ごしたり、ボストンでは七飯町の皆さんと別行動でダックボートツアーという水陸両用車による文字どおり陸からと川からと歴史ある建物がたくさんの市内観光をさせていただきました。

そして、ソロー小学校ではスーザンの5年生のクラスを訪問したり、クラスの日本人の男の子ゆうきくんに校内を案内してもらい、お昼には校長室にてケリー校長先生とカレン、スーザン、後藤さん、ゆうきくんと私でサンドイッチとスイーツをいただきながらお話をさせて頂きました。その後、カレンの図書室で1年生の子供たちに「いっすんぼうし」をスクリーンで絵を見せながら、もちろんカレンが英語で、後藤



ダックボートツアー



ソロー小学校図書室



ケビンとジェームス

さんと私が交代で日本語での読み聞かせをしました。続いてカレンが子供たちにはちまき作りをさせるのを手伝いました。白い紙に日の丸の赤い丸を張り、「日本」「一番」と書かせました。初めての日本語のそれも漢字を上手に書いて自分の頭に巻き、無邪気に喜ぶ姿はアメリカも日本も同じだと思いました。本当に可愛らしかったです。

小学校も高校もパソコンを使った電子黒板を使い、小学校の宿題もホームページを家で見るとハイテク機器をあらゆるところに取り入れた教育がされていました。また図書室ではそういう機器の使い方なども教えたりしており日本の学校の図書室との違いを感じました。

今回の楽しみの一つが我が家にホームステイしたケビンとジェームスの家族に会う事でした。ケビンの家族がジェームスの家族と共に夕食に招待してくださいました。子供たちがお世話になったお礼にと感謝祭の伝統料理（ターキー、アップルパイなど）を手作りし、ご馳走してくれました。美味しかったです。それぞれの家庭にホームステイしている七飯高校生2人ずつも一緒にゲームをしたりとにぎやかで楽しかったです。ケビンの家では去年もホームステイを引き受けてくれたり、お母様のウェンディは七飯高校吹奏楽部、英語部の生徒のホームステイのお世話をしてくれたりと、七飯町との交流に携わってくれていて嬉しく、感謝の気持ちでいっぱいでした。

もう一人、私にわざわざ会いに来てくれた方がおりました。我が家で最初にホームステイを受けた時のケイレブと2回目の時の弟ラフィのお母様カリンでした。子供たちは大学などでコンコードを離れているので、その近況を聞かせてくれたり、プレゼントを頂いたり、短い時間でしたがとても嬉しく楽しかったです。

あっという間に過ぎてしまったホームステイですが、今まで七飯町とコンコード町が長年積み重ねてきたことがあっての今があるとつくづくと感じ、コンコードに住む日本人の方々が通訳として協力してくださったり、コンコードのたくさんの方々の温かい心があってのものだと言葉で言い表せないくらいの感謝の気持ちでいっぱいでした。

私は言葉も不十分で思ったことの半分も言えませんでしたでしたが気持ちは十分に通じ合えたと思います。お互いの違った言語、文化、習慣を受け入れ、心と心の交流が出来たような気がします。素晴らしい人達と出会い、貴重な

体験をさせて頂いたことに感謝し、私を心から温かく迎え入れてくれたロンとカレン夫妻そしてコンコード町のたくさんの方々にお礼を申し上げ、さらに七飯町の関係者の皆さん、そして今回ご一緒した皆さんにお礼を申し上げます。

この経験は私の宝物です。これからも七飯町とコンコード町の交流に何かしら携わって行きたいと思っております。ありがとうございました。